

「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画(案)」の市民意見公募において寄せられた意見の概要とそれに対する本市の考え方

意見提出期限：平成29年1月23日(月)～平成29年2月22日(水)

意見の提出者：2人

意見件数：7件

No	意見の概要	意見に対する本市の考え方
①	既存の自転車道(大分川・大野川)と交通結節点(大分駅・鶴崎駅)を結ぶ幅の広い自転車道の整備が大切である。	<p>既存の大分川や大野川の自転車道は、重要な路線であり、交通結節点との連結は効果的な取組みと考えています。</p> <p>そのようなことを踏まえ、ネットワーク路線の設定については、幹線道路やその他の道路の様々な条件をもとに重要度を把握し、選定をおこなっております。</p> <p>幹線道路と駅等(主要施設)を結ぶ路線については、重要性が高い路線として認識しており、整備形態については、道路管理者と協議をする中、既存道路の幅員、地域の状況に応じて整備を進める予定です。</p> <p>新規路線の建設時や既存の道路の幅員の中で、通行区分を配分し、自転車走行空間が形成され、全ての道路利用者が安心安全に通行できるよう取り組みます。</p>

②	<p>大分駅と鶴崎駅を太く繋げることが必要。 (大分駅と臨海産業道路と鶴崎駅)</p>	<p>大在大分港線(臨海産業道路)については、交通量が多く、東西方向の幹線として重要路線として選定しております。</p> <p>本整備計画(案)では、ステップ1(H25～H27)に中心市街地から試行的に整備を進め、ステップ2(H28からH32)からは、中心部及び学校周辺や駅周辺を特に優先すべき整備路線に決定し、整備延長20kmを目標としております。</p> <p>整備優先順位としては、中心市街地→幹線道路→生活圏を基本と考えております。</p> <p>幹線としての大在大分港線(臨海産業道路)の整備については、中心市街地から生活圏を繋ぐ路線として整備を計画しております。</p>
---	---	---

③	大野川と大分川の山側を繋ぐルート の整備。(R197バイパス未施工部分の 利用)	<p>ネットワーク路線の設定については、幹線道路やその他の道路の様々な条件をもとに重要度を把握し、選定をおこなっております。</p> <p>本計画における対象地域は、大分市全域としており、整備優先順位としては、自転車利用者が集中する順に、中心市街地→幹線道路→生活圏と考えております。</p> <p>ご提案の整備については、幹線及び余暇型路線を結ぶネットワークとして日常生活やレクリエーション又、観光に資する路線としての評価をしていることから、道路管理者へ提案をいたします。</p>
---	--	---

<p>④</p>	<p>公共交通機関と幹線的な自転車道の連結を図り、その交通結節点付近に駐輪場を整備することで利便性を向上させる。</p>	<p>本整備計画(案)は、大分市総合計画、大分市都市計画マスタープラン、大分市自転車利用基本計画の下位計画に位置付けられており、大分市自転車利用基本計画では、「自転車に乗りたくなるまちおおいた」を目標に「使いやすいしくみづくり」として、自転車と他の交通機関との連携やレンタサイクル事業の推進を行っております。</p> <p>又、駐輪場については、「大分市自転車等駐車場整備計画」を定め駐輪場を整備しており、大分駅周辺に 3 箇所、中心市街地に 8 箇所、郊外駅に 17 箇所(JR 管理含む)の駐輪場を設置し、多くの市民が利用しています。</p> <p>その他、市民や観光客の利便性や回遊性の向上を図るとともに、中心市街地における車の交通量の削減、駐輪場の効率化、地域活性化や観光振興にもつながるレンタサイクル事業を大分駅高架下東駐輪場内のレンタサイクルポート内で行っております。</p> <p>このような取組みにつきましても、利便性向上の為、今後も情報発信に努めてまいります。</p>
----------	--	---

⑤	<p>河川沿いの自転車道は天端を広くし、自転車及び歩道として利用する。高水敷き道路についてはバイク道(オートバイ)として利用する。</p>	<p>大分川や大野川には、既存の自転車道が整備され、通勤や通学さらには、サイクリングなど多くの市民が利用しております。</p> <p>この自転車道は、河川敷に設置していることから一般車両が通行することが無く安全に利用している状況です。</p> <p>今後は、既存の自転車走行空間を基本に交通量の多い路線や事故の多い路線を抽出し整備を進めてまいります。</p>
⑥	<p>走行空間と合わせて駐輪場の確保は必須。</p>	<p>大分市では、「大分市自転車等駐輪場整備計画」を平成22年の5月に策定し、これまでに中心部の駐輪場の整備と併せ「大分市自転車の放置の防止等に関する条例」の施行や「自転車等放置禁止区域の設定」などの駐輪対策に取り組み、現在中心部では放置自転車が減少しています。</p> <p>その一方で、中心部に自転車で行きにくくなったなどの意見もあることから、平成29年3月にこれまでの駐輪対策の成果と課題を踏まえ「大分市自転車等駐車場整備計画」を改定し、その計画に沿って駐輪場を整備することとしています。</p>
⑦	<p>レンタサイクルステーションの増設。 (乗り捨てできるステーション)</p>	<p>現在、大分駅高架下東駐輪場内でレンタサイクルを運営しており、便利で利用しやすいレンタサイクルとなるよう取り組んでいます。市民の皆様からのご意見等を勘案した上で、レンタサイクルステーションの増設等も踏まえ検討してまいります。</p>